

淡座

AWAI ZA

第二回公演

第一夜 落語×現代音楽

特別出演……古今亭志ん輔

日時……2018年10月20日(土)

17時30分開場・18時開演

会場……紀尾井小ホール

曲目……桑原ゆう作曲作品

反魂香

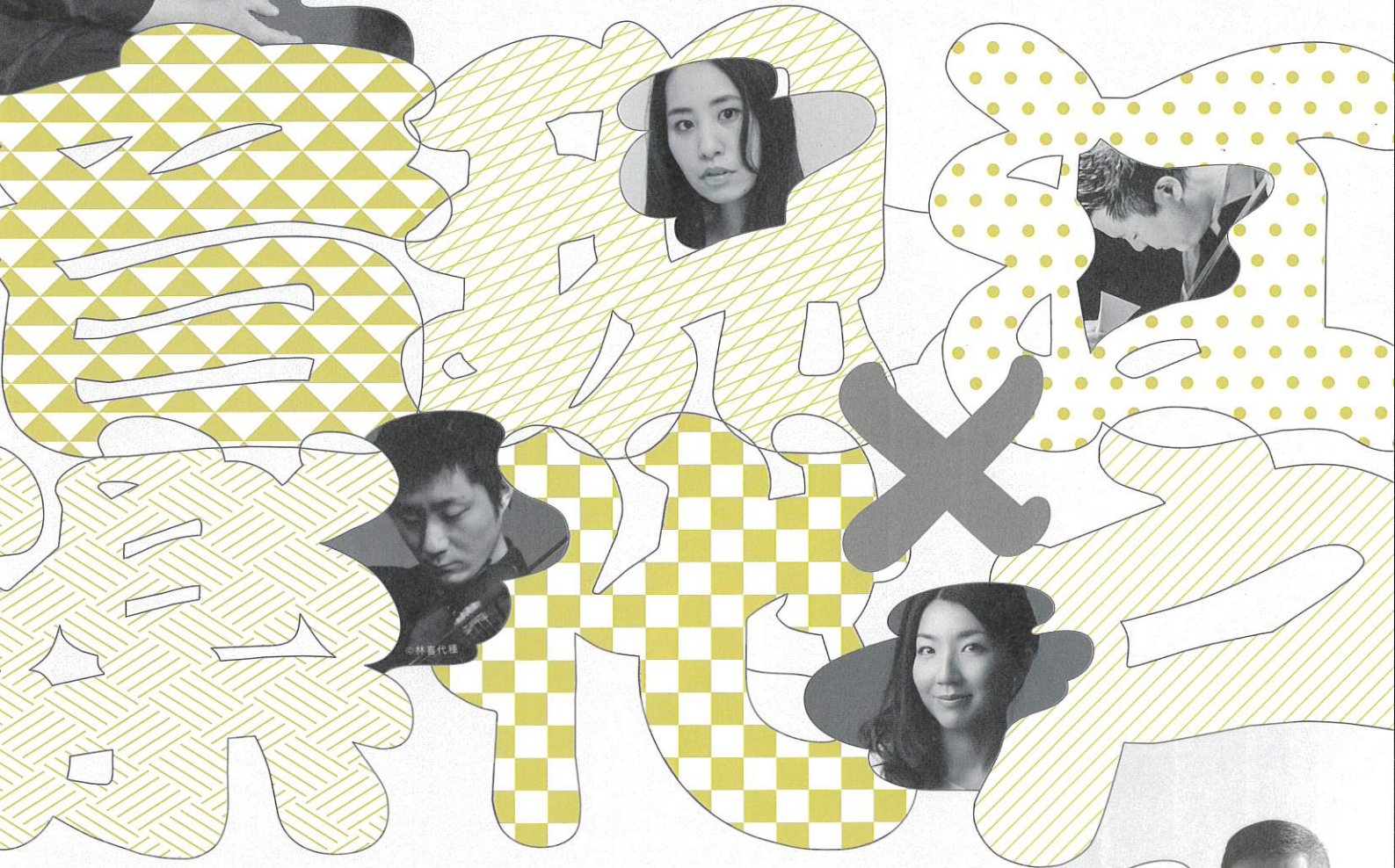
落語、ヴァイオリン、チェロ、
三味線のための

はすのうてな

ヴァイオリン、チェロ、
三味線のための(改訂初演)

芝浜

落語、ヴァイオリン、チェロ、
三味線のための(改訂初演)



第二夜 端唄×現代音楽

特別出演……本條秀太郎

日時……2018年11月3日(土)

17時30分開場・18時開演

会場……紀尾井小ホール

曲目……桑原ゆう作曲作品

やがて、逢魔が時に
なろうとする

三味線独奏のための

逢魔が時のうた

チェロ独奏のための

水の声

ヴァイオリン独奏のための
(改訂初演)

越後獅子幻想

ヴァイオリン、チェロ、
三味線のための

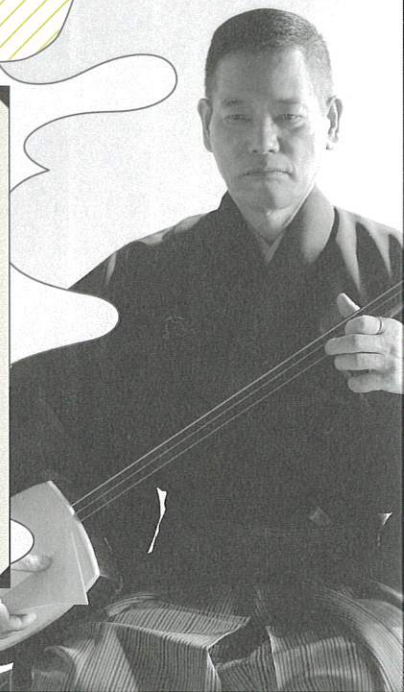
三味線二挺のための作品

(新作世界初演)

端唄『夜の雨』、
『木遣り』より

(新作世界初演)

他(プログラムは都合により変更の場合がありますので、ご了承ください)



淡座

AWAI ZA

江戸にまなび、音とことばのあわいをえがく

淡座は、現代音楽、クラシック音楽、日本の芸術文化を行き来し、文化の古今と東西をつなぐための活動を行う、作曲家と演奏家によるクリエイショングループです。私たちは、様々な日本の文化の中でも、とりわけ江戸文化から学ぼうとしています。江戸文化独自の発想のもと「形のないもの、目に見えないもの」、つまり言葉、文化、哲学、思想など、人の生活を豊かにするものの在り方を模索し、作品や演奏として発信することを目指しています。

淡座 第二回公演 「江戸×現代音楽」

「江戸×現代音楽」は、落語、端唄と三味線音楽にフォーカスした二夜にわたる公演です。第一夜「落語×現代音楽」は、江戸落語の第一人者である古今亭志ん輔氏をゲストに2011年の旗揚げ公演をリバイバルしたプログラムをお送りします。約4年にわたった志ん輔氏との「真景累ヶ淵」全段公演を経て、改めて言葉と音のぶつかり合いに挑みます。第二夜「端唄×現代音楽」は、三味線音楽界の名人、本條秀太郎氏をゲストに迎えて三味線音楽から江戸文化を見つめ、幻想文学作家、泉鏡花の作品にひそむ江戸憧憬を音楽で描きます。

落語と同じ意味で使われる「噺」には珍しい、目新しい物語という意味があり、端唄の「端」は極限を意味します。江戸文化の最先端であった落語と端唄を媒介として、江戸と現代を行き来しながら、新しい「粋」の形を見出します。

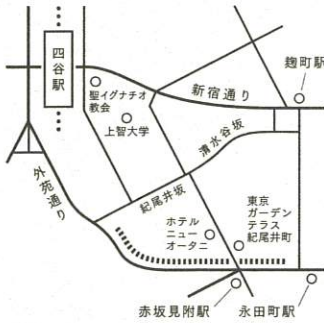
チケット

料金
一般4,000円、学生3,000円(全席自由)
二夜セット券(お取扱いは淡座のみ):
一般7,000円、学生5,000円

購入・ご予約・お問い合わせ
淡座:
080-4091-6491, info@awaiza.com
紀尾井ホールチケットセンター:
03-3237-0061(10時~18時、日・祝休)
*二夜セット券は淡座でのお取り扱い致しております

会場 (両夜とも)

紀尾井小ホール
東京都千代田区紀尾井町6-5 5階
03-3237-0061
www.kioi-hall.or.jp



四ツ谷駅(JR線・丸の内線・南北線) 徒歩6分
麹町駅(有楽町線) 2番出口 徒歩8分
赤坂見附駅(銀座線・丸の内線) D出口 徒歩8分
永田町駅(半蔵門線・有楽町線) 7番出口 徒歩8分



写真提供: トーキョーアートランドスペース

主催・企画 一般社団法人 淡座
作曲・構成 桑原ゆう(淡座)
出演 三瀬俊吾(ヴァイオリン/淡座)
竹本聖子(チェロ/淡座)
本條秀慈郎(三味線/淡座)

協賛 株式会社エポラブルアジア
日本ビジネスシステムズ株式会社
後援 株式会社システムアリア
アーツジョイ
東京芸術大学同声会
淡座ウェブサイト awaiza.com

特別出演 古今亭志ん輔(落語家)
本條秀太郎(三味線演奏家)



古今亭志ん輔
落語家

1953年9月25日 東京都品川区生まれ
1972年3月 三代目古今亭志ん朝に入門
前座名は「朝助」
同年4月 初高座 演目「時そば」
1984年4月・1999年3月 NHKテレビ「おあさんといっしょ」にレギュラー出演
1985年9月 真打昇進「古今亭志ん輔」襲名
2000・03年 NHK EFMラジオ「名曲リサイタル」のパーソナリティを務める
2000年・新日本フィルハーモニー交響楽団とのファミリーコンサートに出演
現在、落語協会理事
ORAWAIKEON



三瀬俊吾
淡座代表・ヴァイオリン

東京音楽大学卒業後、桐朋学園大学大学院修了。篠崎功子、岡山潔、藤原英雄の各氏に師事。第1回横浜国際音楽コンクール弦楽器一般部門第1位。同コンクールより奨学金を得、パリ・エコール・ノルマル音楽院へ留学。同音楽院にて、ドゥヴィエール、原田幸一郎の両氏に師事する。定期的に千々岩英一氏の指導も受け、パリでソロや室内楽、新作の演奏活動も行う。2010年帰国。各地でリサイタルを行う他、EMERGENCYリレーション'70、日黒弦楽四重奏団、オーケストラ・トリブテイクなど、現在はソロや室内楽やオーケストラなど幅広く活動中。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。



本條秀太郎
三味線演奏家・作曲家

茨城県出身。1971年本條流を創流。古典・民族音楽を礎に、現代に生きた伝統的三味線音楽の楽派「但奏楽」を発表。多年に渡り350曲におよぶ「端唄」を収集。新作端唄を多数作曲。演奏発表している。端唄、民謡、民俗芸能の採譜・発掘、CD制作や海外での演奏活動も精力的に行っている。1989年には民謡の再生、モダン化への試みで、日本民謡を日本の民族音楽として定着させることをテーマにした細野晴臣プロデュース「LAVIUS(先祖帰れ)」を公演。
定期公演として、但奏楽「江戸端唄」を聞く、端唄を伝える活動として、現代音楽二味線(Beads)を開催。1968年よりNHK大河ドラマの邦楽指導、龍馬伝、八重の桜等。97年シアトル・ロサンゼルスにて日本舞踊アメリカ公演「但奏楽 俊寛」を作曲・演奏。2008・13年演劇界の鬼才サイモン・マクパーニー演出「藤琴」に参加。ロンドン・パリ・ニューヨーク・東京公演等に出演。演奏、著書「本條秀太郎三味線語り」淡交社。日本音楽著作権協会正会員、桐朋学園芸術短期大学招聘教授兼任。2004年第54回文化庁芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2007年紫綬褒章受賞。



桑原ゆう
作曲家

東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。同大学大学院音楽研究科(修士課程)修了。在学中より国内外の音楽祭、セミナー等に参加し作品発表を始め、ミラノ国際博覧会、ロウエイモン作曲講習会(フランス)、トロン音楽祭アカデミー(スイス)、トロン国際音楽祭(韓国)、ダルトムシュタット夏季現代音楽講習会(ドイツ)等、各地で作品が取り上げられている。74・75・78回日本音楽コンクール作曲部門入選等、受賞歴多数。一部の作品はEdition Wulf(ドイツ)より出版されている。近年は「神明」を中心に、雅楽、民俗儀礼や口頭伝承等に取材し、日本の音と言葉を源流から探り、文化の古今東西をつなぐことを主なテーマとして創作を展開。
Shinai.com/yu/



竹本聖子
チェロ

福岡県出身。東京音楽大学卒業、同大学院修了。在学中特待生奨学金を得る。日黒弦楽四重奏団、日本人作曲家の作品を演奏する「オーケストラ・トリブテイク」メンバー。クラシックやミュージカルのほか、様々なジャンルのアーティストとの共演、国内外の作曲家の新作を数多く初演するなど、音楽や人との出会いを楽しみながら演奏活動を行っている。これまでにチェロを秋津智恵、森純子、堀了介、DFエイギンの各氏に、室内楽を東彩子、菊田雅治、浦川宜也の各氏に師事。



本條秀慈郎
三味線

本條秀太郎氏に師事し、本條秀慈郎の名を許される。桐朋学園短期大学部卒業。在学中中村屋勝芳氏に師事。現在同大学講師。現代邦楽研究所修了。ACCフェローによりニューヨークへ留学。第70回文化庁芸術祭新人賞、第25回演出賞、第27回京都市音楽賞、第12回手都宮エスペール賞受賞。東京オペラシティ文化財団「B」に出演。
「London Wigmore Hall」で演奏。坂本龍一、藤倉大のアルバムに参加。Ensemble NOMAD、Avalon、室内アンサンブル、ソリストとしては指揮者秋山和慶氏、井上道義氏、東京日本フィルハーモニー交響楽団、オーケストラアンサンブル金沢と共演。文化庁文化交流使に任命され、Ensemble Modern、Ensemble InterContemporain soloists、ICJとも共演する。現代の三味線音楽を模索している。